

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年5月15日

【四半期会計期間】 第74期第1四半期(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

【会社名】 リリカラ株式会社

【英訳名】 Lilycolor Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 山田俊之

【本店の所在の場所】 東京都新宿区西新宿7丁目5番20号

【電話番号】 03(3366)7845(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員総務本部担当兼総務本部長 佐藤伸男

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区西新宿7丁目5番20号

【電話番号】 03(3366)7845(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員総務本部担当兼総務本部長 佐藤伸男

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第73期 第1四半期累計期間 | 第74期 第1四半期累計期間 | 第73期 |
|---|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 会計期間 | 自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日 | 自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日 | 自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日 |
| 売上高 (千円) | 8,356,556 | 9,528,803 | 35,329,181 |
| 経常利益又は経常損失 () (千円) | 104,873 | 113,833 | 52,244 |
| 四半期(当期)純利益又は 四半期純損失 () (千円) | 118,491 | 87,534 | 68,914 |
| 持分法を適用した場合の 投資利益 (千円) | - | - | - |
| 資本金 (千円) | 3,335,500 | 3,335,500 | 3,335,500 |
| 発行済株式総数 (株) | 12,662,100 | 12,662,100 | 12,662,100 |
| 純資産額 (千円) | 5,662,278 | 5,908,225 | 5,830,958 |
| 総資産額 (千円) | 20,365,625 | 20,480,486 | 19,895,303 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額 () (円) | 9.63 | 7.12 | 5.60 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 1株当たり配当額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 27.8 | 28.8 | 29.3 |

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結経営指標等については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 持分法を適用した場合の投資利益については、子会社がないため記載しておりません。

4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、特記すべき事項はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策を背景に、輸出産業を中心に業績が改善する動きが見られ、緩やかながらも回復基調で推移しました。一方、新興国の経済動向や消費税増税に伴う個人消費落ち込みリスク等、先行きは依然として不透明な状況となっております。

インテリア業界におきましては、重要な指標である新設住宅着工戸数は、2012年秋口以降今年2月までは連続して前年を上回って推移してはいましたが、3月には前年同月比微減に転じております。

この様な環境のもとで、当社の売上高は前年同期比14.0%増の9,528百万円、営業利益は140百万円（前年同期は営業損失82百万円）、経常利益は113百万円（前年同期は経常損失104百万円）、四半期純利益は87百万円（前年同期は四半期純損失118百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

インテリア事業

壁装材は、壁装材見本帳“V-ウォール”、“ライト”、カーテン見本帳“ファブリックデコ”、床材見本帳“エルワイタイル”等を増冊発行し拡販に努め、売上高は前年同期比14.9%増の8,080百万円となり、セグメント利益は134百万円（前年同期はセグメント損失84百万円）となりました。

スペースソリューション事業

顧客企業のリニューアル、移転等に対する投資意欲の回復、顧客企業に対するより細やかなサービスの提供に努め、売上高は前年同期比9.4%増の1,448百万円となり、セグメント利益は前年同期比144.0%増の5百万円となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 41,000,000 |
| 計 | 41,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年3月31日) | 提出日現在 発行数(株) (平成26年5月15日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|---------------------------------|------------------------------------|-------------|
| 普通株式 | 12,662,100 | 12,662,100 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数1,000株 |
| 計 | 12,662,100 | 12,662,100 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成26年1月1日～ 平成26年3月31日 | - | 12,662,100 | - | 3,335,500 | - | 2,362,793 |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないことから、直前の基準日である平成25年12月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成26年3月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|--------------------------|----------|------------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (保有自己株式) 普通株式 360,000 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 12,225,000 | 12,225 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 77,100 | - | 1単元(1,000株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 普通株式 12,662,100 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 12,225 | - |

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式が706株含まれております。

【自己株式等】

平成26年3月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (保有自己株式) リリカラ株式会社 | 東京都新宿区西新宿 7丁目5番20号 | 360,000 | - | 360,000 | 2.84 |
| 計 | - | 360,000 | - | 360,000 | 2.84 |

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間(平成26年1月1日から平成26年3月31日まで)及び第1四半期累計期間(平成26年1月1日から平成26年3月31日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がないため、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】
(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成25年12月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日) |
|---------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,342,292 | 3,589,356 |
| 受取手形及び売掛金 | 3 6,050,879 | 7,221,931 |
| 電子記録債権 | 6,167 | 221,345 |
| 商品 | 2,414,330 | 2,562,898 |
| その他 | 4 1,604,616 | 4 1,475,050 |
| 貸倒引当金 | 12,269 | 12,339 |
| 流動資産合計 | 14,406,016 | 15,058,244 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1,732,640 | 1,719,729 |
| 無形固定資産 | 252,416 | 256,075 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 1,932,701 | 1,933,593 |
| その他 | 1,647,609 | 1,588,883 |
| 貸倒引当金 | 76,082 | 76,040 |
| 投資その他の資産合計 | 3,504,229 | 3,446,436 |
| 固定資産合計 | 5,489,286 | 5,422,242 |
| 資産合計 | 19,895,303 | 20,480,486 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3 9,766,385 | 10,304,452 |
| 短期借入金 | 739,000 | 370,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 200,000 | 240,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 403,288 | 388,500 |
| 未払法人税等 | 81,655 | 33,964 |
| 賞与引当金 | 95,943 | 155,672 |
| その他 | 811,980 | 811,124 |
| 流動負債合計 | 12,098,251 | 12,303,713 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 450,000 | 590,000 |
| 長期借入金 | 666,250 | 847,800 |
| 退職給付引当金 | 384,321 | 376,905 |
| 資産除去債務 | 57,111 | 57,382 |
| その他 | 408,410 | 396,459 |
| 固定負債合計 | 1,966,093 | 2,268,547 |
| 負債合計 | 14,064,344 | 14,572,260 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成25年12月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日) |
|--------------|------------------------|----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,335,500 | 3,335,500 |
| 資本剰余金 | 2,362,793 | 2,362,793 |
| 利益剰余金 | 68,914 | 156,449 |
| 自己株式 | 59,521 | 59,648 |
| 株主資本合計 | 5,707,686 | 5,795,094 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 123,272 | 113,131 |
| 評価・換算差額等合計 | 123,272 | 113,131 |
| 純資産合計 | 5,830,958 | 5,908,225 |
| 負債純資産合計 | 19,895,303 | 20,480,486 |

(2) 【四半期損益計算書】

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日) | 当第1四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 売上高 | 8,356,556 | 9,528,803 |
| 売上原価 | 6,338,673 | 7,211,648 |
| 売上総利益 | 2,017,882 | 2,317,154 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,100,240 | 2,177,132 |
| 営業利益又は営業損失() | 82,358 | 140,022 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,680 | 1,449 |
| 受取配当金 | 365 | 512 |
| 不動産賃貸料 | 10,251 | 10,408 |
| その他 | 3,544 | 3,433 |
| 営業外収益合計 | 15,841 | 15,803 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 13,127 | 12,015 |
| 手形売却損 | 13,707 | 13,841 |
| 電子記録債権売却損 | - | 1,100 |
| 不動産賃貸費用 | 8,899 | 8,985 |
| その他 | 2,622 | 6,050 |
| 営業外費用合計 | 38,357 | 41,993 |
| 経常利益又は経常損失() | 104,873 | 113,833 |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失() | 104,873 | 113,833 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 13,617 | 26,298 |
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 118,491 | 87,534 |

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

1 保証債務

| | 前事業年度 (平成25年12月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日) |
|--|---|--|
| | 従業員17名の銀行からの借入債務 に対して債務保証を行っており、 保証債務残高は9,710千円であり ます。 | 従業員19名の銀行からの借入債務 に対して債務保証を行っており、 保証債務残高は11,901千円であり ます。 |

2 受取手形割引高

| | 前事業年度 (平成25年12月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日) |
|--|------------------------|----------------------------|
| | 2,251,398千円 | 1,805,251千円 |

(注)うち、電子記録債権割引高

| | 前事業年度 (平成25年12月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日) |
|--|------------------------|----------------------------|
| | 514,109千円 | 358,338千円 |

3 金融機関休業日満期手形

| | 前事業年度 (平成25年12月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日) |
|---------|------------------------|----------------------------|
| 受取手形 | 58,807千円 | -千円 |
| 支払手形 | 19,238千円 | -千円 |
| 受取手形割引高 | 93,685千円 | -千円 |

4 損失が見込まれる工事契約に係る仕掛品は、これに対応する工事損失引当金を相殺表示しております。

| | 前事業年度 (平成25年12月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日) |
|-----------------------------|------------------------|----------------------------|
| 相殺表示した仕掛品に対応する工 事損失引当金の額 | 1,456千円 | 1,755千円 |

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る減価償却費を含む。)は次のとおりであります。

| | 前第1四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日) | 当第1四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 36,535千円 | 45,052千円 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 四半期損益計算書 計上額 (注) |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-----|------------------------|
| | インテリア事業 | オフィス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,032,699 | 1,323,857 | 8,356,556 | - | 8,356,556 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 7,032,699 | 1,323,857 | 8,356,556 | - | 8,356,556 |
| セグメント利益(損失) | 84,465 | 2,106 | 82,358 | - | 82,358 |

(注) セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 四半期損益計算書 計上額 (注) |
|-----------------------|-----------|-----------------------|-----------|-----|------------------------|
| | インテリア事業 | スペースソ リューション事 業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,080,028 | 1,448,775 | 9,528,803 | - | 9,528,803 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 8,080,028 | 1,448,775 | 9,528,803 | - | 9,528,803 |
| セグメント利益 | 134,881 | 5,141 | 140,022 | - | 140,022 |

(注) 1 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 「スペースソリューション事業」は平成26年1月1日付けで、名称を「オフィス事業」より変更しておりま
 す。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額(損失)及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日) | 当第1四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額(損失) | 9円63銭 | 7円12銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(損失)(千円) | 118,491 | 87,534 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(損失)(千円) | 118,491 | 87,534 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 12,304,650 | 12,300,903 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年5月12日

リリカラ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トー マ ツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 久 保 伸 介 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 阪 田 大 門 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているリリカラ株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの第74期事業年度の第1四半期会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第1四半期累計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、リリカラ株式会社の平成26年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。